

大阪万博について情報共有しよう！
— キーコンピテンシー獲得のための相互交流 —

第 181 回関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA) 例会

日時：2025 年 7 月 13 日（日） 10:30 - 11:30

場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス（OIC）B411 研究会室

担当：江澤照美

¡Vamos a compartir informaciones sobre la Expo Osaka!
--- la interacción que conduce a la adquisición de las competencias clave ---

CLXXXI Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai (TADESKA)

Fecha y hora: Domingo, 13 de julio de 2025, de 10:30 a 11:30

Lugar: Universidad Ritsumeikan, Campus de Osaka Ibaraki (OIC), B411

Moderadora: Terumi EZAWA

2003 年の OECD（経済協力開発機構）報告以降、学習者が社会で生きていくために獲得が必要とされる総合的資質や能力、いわゆる「キーコンピテンシー」（主要能力、スペイン語では Competencias clave）は近年教育分野での研究が進んでいる。たとえば、Instituto Cervantes は 2018 年に第二言語もしくは外国語としてのスペイン語教育に従事する教師にとって必要なキーコンピテンシーについての報告書を刊行した。また近年改訂された日本の学習指導要領にキーコンピテンシーの概念が影響を及ぼしていることが文部科学省の web ページなどからも伺える。

キーコンピテンシーは複数の能力から構成されているが、その中で文化間コミュニケーション促進と ITC の活用はとりわけ今後の外国語教育に必要不可欠と思われる。そこで今回のワークショップでは、この 2 つの能力促進に役立ちワークショップの主旨にも沿った活動として、この時期に大阪で開催中の万国博覧会を題材として選んだ。すなわち、現実にある（あった）国際的イベントを利用して、目標言語やその言語圏、社会文化についてネットや他者を通じて知り、情報交換や発信などをおこなうことを本ワークショップの活動の目的として定めた。

現実存在する（した）イベントを教育活動に利用することにはメリットとデメリットがあるかもしれない。メリットは学習者の興味を比較的ひきやすく、あまり気負うことなく取り組めることにあるだろう。デメリットはイベントが期間限定であるため、実践的な授業活動ができる時期が限られていることにある。しかし、担当者はすでに終了した南米の大規模イベントを題材にして、架空の南米旅行計画を学生に課した授業をおこなったこ

とがある。そのような授業実施にあたり多少状況や設定を変更する必要があったが、それでも文化間コミュニケーション促進や ITC 活用をねらいとした授業のために終了したイベントの情報を利用することは可能であると考えている。

本題に話を戻す。ワークショップでは外国語学習や異文化理解の題材として万国博覧会を利用することやその利点を紹介したのちに、2つのグループに分かれた参加者に大阪万博に関して授業や教室活動でできることを話しあってもらった。話の内容には特に制限を設けなかった。その理由としては、キーコンピテンシーが総合的な言語コミュニケーション能力に関わるものであるため、社会および文化的要素を意識しつつもスペイン語に話を限定する必要はないと担当者が考えたためである。

最後に各グループでの話合いの内容を発表してもらい、見解を共有した。